

ブラジル 「テニスの藤倉」が來伯

カーナ東山の社員となつて

昭和十一年度全日本庭球順位第四位の「テニスの藤倉」が來伯する。山岸がウイムブルドへ華やかなテニスの旅に上ののに反し、藤倉次郎氏はサンストスの東山農事社員として、農業者間に、日本人經營の唯のコモサリオの一族として、一面目な人生旅立つことになり約十ヶ年の勤務をす。テニス港にある七、八の年で、入社の正式決定は明大卒業の時である。サンストスの同会社の本社に勤め、又は今行くなれば、藤倉を頂戴した三月三十日で、同時に又は今後から勤務して、藤倉の面には氣を吐いてくれることになり期待される。藤倉は言つて居る。

日會改革の打診

慎重に各方面ご懇談

リペイラ茶 生産過剰の危険

人里刷新說

支店長を重役制となし

現在の六課を二課に縮少か?

支店長を重役制となし

現任の六課を二課に縮少か?

